

2023年9月8日

住友生命保険相互会社

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する「防災・復興債券（サステナビリティ債券）」への投資

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、独立行政法人国際協力機構（理事長 田中 明彦、以下「JICA」）が発行する「防災・復興債券（サステナビリティ債券）」（以下「本債券」）への投資を決定しました。

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として開発途上国への国際協力を担っており、JICAが発行した債券への投資は、日本政府からSDGsを達成するための具体的な施策の一つにも位置付けられています。



©JICA

今回の「防災・復興債券」によって調達された資金は、近年、自然災害が開発途上国をはじめ世界各国で頻発化し被害が甚大化していることを踏まえ、開発途上国の防災及び自然災害からの復興を支援する有償資金協力事業に充当されることから、本債券への投資を決定しました。

【本債券の概要】

発行体	独立行政法人国際協力機構（JICA）
発行額	100億円
期間／利率	20年／1.404%

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じたSDGsの達成に向けて取り組みを進めています。今後も責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益力の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主なSDGs項目】



以上